

市教育大綱に基づき、市では、「途切れのない支援」を推進しています



市では、障がいの有無に関わらず、すべての子が一緒に暮らすことができる「共生社会」の実現を目指しています。「サポートブックたかやまっ子成長のあしあと」は、高山市に生まれ育つすべての子どもへの途切れのない支援を目指して作成したものです。

市では、子ども発達支援センターを中心に妊娠期から子どもが自立するまで継続して支援していくため、『サポートブックたかやまっ子成長のあしあと』の活用を促進していきます。

あったこと、特別な支援が必要な子の発見の遅れの問題もあつたこと、そして、障害年金の請求をする時の情報不足などの現状があつたからです。サポートブックの活用を促進して保護者と支援者の信頼関係づくりと支援の丁寧な引継ぎを目指します。

記入するのは、保護者のみなさんです。時には、親子で記入するときもあるかもしれません。記入期間は、お子さんが自立するまで(就職につながるまで)です。母子健康手帳や学校在学中の身体の記録等をサポートブックに挟み込み、一緒に保管します。

現在、4カ月健診時をはじめ、保育園・幼稚園の子どもたちを中心に配布を進めています。

子どもたちの成長段階での支援者間の情報共有が不十分で

あつたこと、特別な支援が必要な子の発見の遅れの問題もあつたこと、そして、障害年金の請求をする時の情報不足などの現状があつたからです。サポートブックの活用を促進して保護者と支援者の信頼関係づくりと支援の丁寧な引継ぎを目指します。

記入するのは、保護者のみなさんです。時には、親子で記入するときもあるかもしれません。記入期間は、お子さんが自立するまで(就職につながるまで)です。母子健康手帳や学校在学中の身体の記録等をサポートブックに挟み込み、一緒に保管します。

現在、4カ月健診時をはじめ、保育園・幼稚園の子どもたちを中心に配布を進めています。

子どもたちの成長段階での支援者間の情報共有が不十分で

子ども発達支援センターでの妊娠期から自立までの途切れのない支援の取り組み



こんなことはありませんか？

子どものかかわり方がわからない。

誰に相談すればいいんだろう？

子どもの発達や成長が気になる。

産後、気分が落ち込みやすい。

家庭内のトラブルが多い。

虐待・DVで困っている。困っている人をみかけた。

保育園・幼稚園や学校で困っていることがある。

どこで遊ばせたらいいんだろう？

イライラして家族にあたってしまう。

友だちと遊ばない。

その他、子どもに関する悩み事がある。

困った事をどこに相談してよいかわからない時は、「子ども発達支援センター」にご相談ください。

子ども発達支援センター

(本庁1階・子育て支援課内)

☎ 35-3179 FAX35-3165